

事業所名

放課後等デイサービス HEARTY 榎原教室

支援プログラム

作成日

6 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		・すべての人を尊重し愛をもって接することでより良い社会環境と新たな価値観の創造に取り組みます ・障がい福祉における課題を常に意識し、日々魅力的なサービスをクリエイティブに提供することで地域及び業界全体の発展に貢献します ・刻一刻と過ぎ去る大切な時間を無駄にしないために「意味のある療育」、「意味のある時間」をご提供します					
支援方針		専門的・療育的な観点からのみでなく、当事者、関係者、保護者としての観点も重視しながら支援プログラムを構築します。 社会に出る時に、できる限り困りごとが少なくなるよう、早い段階から様々な可能性を見出しチャレンジしてもらうことを大切にしています。 子ども扱いせず、本人の意思を最大限尊重することを大切にしています。					
営業時間		10 時	0 分	19 時	0 分	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	おやつやお弁当の時間を通して食の大切さや食事の際のマナーを伝えています。 理解度や年齢によっては、添加物や農薬に関するお話しをすることもあります。 お子様への支援同様、ご家族に対して食に関するご相談を受けたりアドバイスも行っています。					
	運動・感覚	屋内での手先、指先の遊び（微細運動）と、屋内でできるスポーツ及び屋外でする遊び、スポーツ（粗大運動）の双方を重視しています。指先や肘先の分化を重視した活動からビジョントレーニングに基づくゲーム、全身運動まで、画一的な遊び、支援にならないよう毎回明確に目的を設定した上で取り組んでいます。					
	認知・行動	スケジュールを可視化して全体の流れと自分のとるべき行動に見通しが持てるよう支援しています。 基本的には自分で自分のスケジュールの見通しをもつ癖をつけてもらえるように支援しますが、難しい場合でも事前の声かけや個別の絵カードを用いる等して個々の認知能力への寄り添いやそれに伴うスモールステップでのプログラムを設定します。					
	言語コミュニケーション	行動の裏側にあるお子様の気持ちを言語化できるように支援しています。お子様どうしのコミュニケーションを尊重しつつ、職員とゆったり過ごす時間やマンツーマンの時間をとり、だれかにゆっくり話を聞いてもらう経験や自分の気持ちを自分の言葉で伝えていく経験を大切にもらっています。					
	人間関係社会性	教室内ではお子様と職員とのやりとりのみでなく、他のお子様との関わり合いを最大限尊重しています。たまにトラブルになったとしても、その時の経緯を考えると、気持ちを感ずること、それを言葉にすることなどを1つ1つ丁寧に乗り越えてまた1つ成長のキッカケとなるようにサポートします。 また、教室のお友達やその保護者の方々のみならず、地域の行事に積極的に参加したり地域の方々にご協力頂くイベントの主催など、地域との交流を大切にしながら様々な経験や感情の獲得を促します。					
家族支援		毎月最低1回以上の相談支援（教室での対面、オンライン含） 保護者会、お茶会、ママ会、パパ会、進学相談交流会など各種交流会の開催				移行支援	各種団体、企業、教育機関等と連携をはかり、連携先に積極的に交流、体験等の申し入れを行う。保護者様からのニーズを把握し、それに応じた企画の開催
地域支援・地域連携		小学校、児童館のイベントへの参加 地域のおまつりへの参加、各種訓練などの共同開催、児童部会、学校連絡会等への参加				職員の質の向上	毎月の研修（月により内容は異なる。新人研修・発達障害・障害・福祉・作業療法・虐待防止など）に加え、各種団体主催の研修や講義の受講、個人面談等の実施
主な行事等		大きなイベント：サマーパーティー・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー 初詣、お花見、バレンタイン、母の日、父の日、お泊まりイベント、おでかけ					